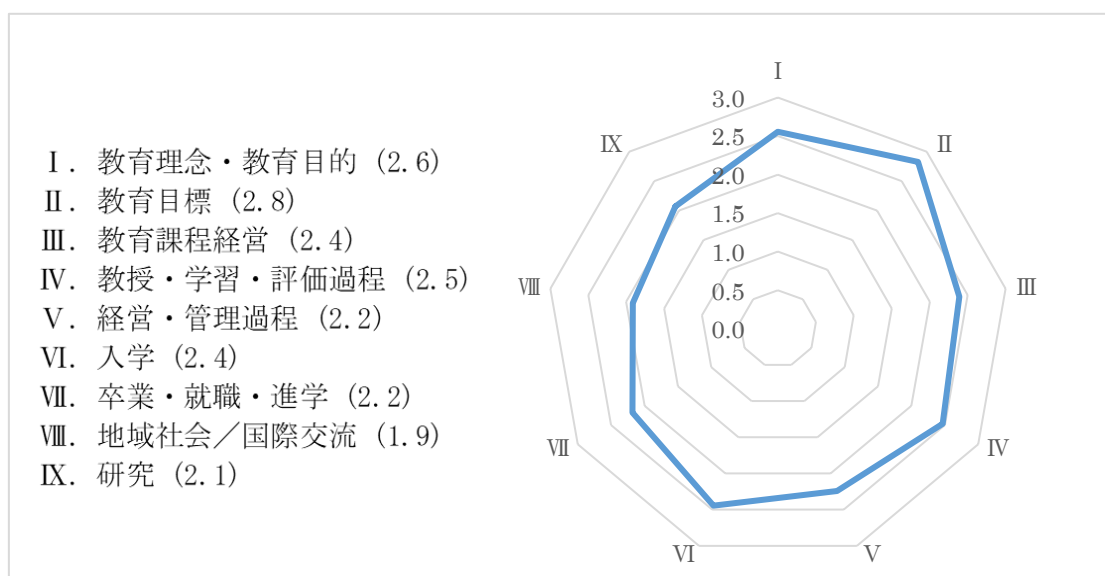


令和5年度 自己点検・自己評価集計結果



I 教育理念・教育目的 (2.6)

新カリキュラムとなり2年目である。教育理念・教育目的、専門職についての考えかたが明示された学生便覧を学生に配布し説明を行っている。学習活動や教育活動の指針としている。学生の状況など考慮し、学校便覧を毎年、見直していく。

II 教育目標 (2.8)

教育理念から下ろした教育目標に基づく科目設定を行い、カリキュラムポリシーも教育目標に合わせて明記している。教育目標から分野・領域の目標、科目目標、単元目標、授業目標と一貫性がある教育を今後も意識し行っていく。

III 教育課程経営者 (2.4)

新旧カリキュラムが混在していたため、科目修得の混乱がみられないように丁寧に説明していった。

実習前後には臨地実習施設と会議を行い、実習の目的や実習後の学生アンケートからの実習目標の達成度を評価し、意見交換を行っている。

IV 教授・学習・評価過程 (2.5)

国家試験対策をはじめとする学習支援については、チューター制を取っている。図書室や情報処理室・看護実習室を開放し、必要に応じて他の室も学習に使用できるようにしている。今年度より、実習病院を主とした就職説明会を本校で開催し、1年次より就職先を意識できるようにした。進学希望の学生には、入学時より個別に相談を行って

いる。

教員それぞれが教授方法の工夫をしており、演習形態で行う基礎看護技術では、教員間で協力している。しかし、技術習得のために必要な教員数の協力が得にくい時期もあり、協力体制が十分でない。今後、きめ細やかな支援ができるよう努めていく。

V 経営・管理過程 (2.2)

学校ホームページや SNS によるタイムリーな情報発信を行い、広報に努めた。

個人情報について、ホームページや SNS 等に使用する写真について学生一人一人に確認している。また、実習での患者情報については、実習前後に、同意書を確認し、個人情報の取り扱いを明示し実行することで個人情報保護を遵守している。

学生の意見から Wi-Fi も造設した。今後も学生・教職員の意見を聞き検討し改善する。

VI 入学 (2.4)

入学者数は定員を満たしていない現状である。学校訪問や高校進路ガイダンスの積極的な参加、オープンキャンパスの他に、今年度はさらに学校公開を追加し、学生募集に力を入れた。

VII 卒業・就職・進学 (2.2)

卒業生全員が、病院に就職予定である。卒業生の内、8割近くの学生が県内に就職内定を得ており、その内、3割が学校の所在する地域に就職内定している。

卒業後の活動状況は、実習病院に就職した卒業生については把握できているが、活動状況が把握できていない学生もいる。

VIII 地域社会／国際交流 (1.9)

コロナ渦で行動制限をしていたが、ハワイ研修を再開し、みかん収穫体験や食育推進事業参加といった地域の方との交流を行っていった。地域社会貢献活動として、海岸清掃を行っていった。また、食事が提供できる寮も併設されていることから、山口県の能登半島地震受験者支援に賛同し、看護師を志す被災者の方々の進学の機会を確保するための体制を整えていった。学校情報公開と共に、今後も、地域に貢献できる学校として、何ができるのか考えていく。

IX 研究 (2.1)

周防大島町病院事業局内に倫理委員会を設置しており、研究に対する環境は整っているが、教育業務が優先となっており、研究活動は進んでいない。研究活動が充実できるように、教員の研究に対する意識を高めていく。